

丈、四五、六、九、十、十一番並各坑の空氣の流通を計る設備を  
完全にする事  
右要求也

大正十四年四月二十六日

従業員争議団

生野三菱鉱山株式會社御中

會社は此違を議団に對する町民諸君の同情の絶大ある事を  
見て非常の狼狽し、物達の團結を切崩す為には区長や十長  
を利用して町民諸君に向つて争議が起れば十年以上休山する  
若し否、お水は町を繁栄を害するから町民諸君は争議を撲滅  
せよと宣伝しておます 會社は昨年大礦脈を突見しよりた  
のみならず休山はせよと云ふ政府との契約の下に譲受けし

百歩あり、絶対の休山をいはす事ありは動いが更なる議を撲滅  
する事か町の繁栄にあらは実の確しからん言ふべきか、配給  
を撤廃して、従業員の待遇を善くして其の購買力を増加す  
る事か何故町の為に悪い事か、私達を在道する事か、何故に  
力為此あるか。私達は町民諸君の正義を信じますか、否、無  
宣伝を排斥せよ、私切望致す

大正十四年四月二十六日

生野礦山争議団

別紙 凶

従業員諸君に訴ふ

吾々は生きたる為めに横暴なる會社に對抗して此の日より  
ストライキを決定して居るの尤も第一他人の事と思ふな